

平成28年度 小松市立松陽中学校 学校評価中間報告

小松市立松陽中学校

		自己評価			学校関係者評価		今後の方向(改善計画)	
		評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	取組の状況	達成状況	学校関係者による意	
①	組織的な学校運営	(組織力の向上) 総務会(校長・教頭・主幹・生徒指導)、主任会やその他運営委員会の組織を活性化し、職員の見聞を広げ、職員意識を高めるとともに、次の主任層の人材育成をはかる。 【学びの指針10条】	【満足度指標】 学校運営や教育活動の運営に対して、情報が共有され、組織的に運営され、職員が運営に携われていると感じることが出来る。	組織的な運営がされ、学校への参画意識がある職員の割合が A : 100% B : 90%以上 C : 80%以上 D : 80%未満	・学校運営への参画意識を高めるため、企画会、主任会、特別委員会などの組織を見直した。	A	・学校でも人材育成の必要性は高いと思う。若手にも仕事を任せ育てをはかって欲しい。 ・特にいじめの問題は、深刻になってきている。保護者の方も気になる点があったら、学校へ連絡して早めに対応して欲しい。	・校内研修は計画的に行われているが、「他学年の取組が見えにくい」という点では、課題が残っている。学年会、主任会、特別委員会などの機能を十分に発揮させ、「学年内の横の情報交換」だけでなく「他学年など縦の情報交換」の場を意識して設けることにより、情報が迅速に共有され、組織的に対応できるような取り組み。
		(いじめ・不登校の早期発見・早期対応) いじめに対しては、いじめ対応マニュアルに従って、組織的に誠意を持った迅速な対応、解決を図る。悩みを抱える生徒の早期発見、情報共有、迅速な対応に心がけ、解決を図る。	【満足度指標】 いじめ対応マニュアルにより、事案発生時には誠実迅速に組織的な対応をする。教育相談活動などが計画的に行われ、早期発見に努め、情報の共有を図っている。	いじめへの対応ができていると感じる職員が A : 100% B : 90%以上 C : 80%以上 D : 80%未満	・職員アンケートの結果では、93.9%と高い割合にある。生活ノートや観察など子どもたちの変化を共有し、組織的に対応している。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
		(指導力の向上) 校内研修会を計画的に実施するとともに、風通しの良い職員関係を醸成し相互のコミュニケーション力を高め、授業力、生徒指導力など、総合的な指導力の向上にあたる。【学びの指針10条】	【満足度指標】 各自が短期的な目標を持ち、目標達成に向け、組織的に計画的に相互に働きかけることにより、成長が実感できる。	担当業務遂行が学校運営に生かされていると感じる職員が A : 90%以上 B : 80%以上 C : 70%以上 D : 70%未満	・職員アンケートでは、概ね100%という回答であった。ただ、若手よりじっくりと相談できる場面が見つけられないという意見もあった。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
②	確かな学力の育成	(学力の定着) 表現する力、特に「書く力」を教科、領域を通して向上するために、意図的に授業形態を工夫する。 【学びの指針5条】	【満足度指標】 表現力を向上させるために、授業形態を意図的に工夫している。	力がついたと感じている教職員・生徒が A : 90%以上 B : 80%以上 C : 70%以上 D : 70%未満	・「めあて」「まどめ」を意識した授業を意識するために、授業交流週間などを設け、本校の「学び」のスタイルの実現に向けた取組を行っている。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
		(教科部会の活性化) 学力向上の課題を共有し対策するため、教科部会を計画的に実施し、PDCAを意識した取り組みを実施する。 【学びの指針11条】	【成果指標】 各教科部会で短期的な目標を立て、目標に向け評価および対応を行い、目標に達している。	短期的な目標に到達している A : 90% B : 80%以上 C : 70%以上 D : 70%未満	・定期的に教科部会を開催し、学力調査の採点、検討、定期テストでつけた力の確認などを行った。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
		(家庭学習の充実) 家庭学習の習慣化と定着を目指し、宿題の出し方や点検の方法を学年で組織的にやり、さらに家庭への協力を求める。 【学びの指針8条】	【努力指標】 家庭学習の習慣化や定着を図るための取組を推進し、保護者にも情報提供する。	家庭学習の充実に向けて取り組んでいると感じる割合が A : 80%以上 B : 70%以上 C : 60%以上 D : 60%未満	・自学ノートの提出を促すだけでなく、週末課題の提示など学習内容を向上させる取組を各学年工夫して行っている。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
③	豊かな人間性の育成	(道徳教育の推進) 教科指導や領域において道徳的な価値付けを行い実践し、自己肯定感を高める。	【成果指標】 特別活動を中心とした自己肯定感を高める取り組みをするため、校内研修会を充実し、実践できたか。	自己肯定感を高める実践が行えた A : 80%以上 B : 70%以上 C : 60%以上 D : 60%未満	・各学年の道徳担当が中心となり、教材の共有や授業を交流することができた。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
		(情報モラル教育の推進) 情報教育全体計画に基づいて、生徒、保護者に情報モラルの啓発活動を行う。	【成果指標】 情報教育計画に従い、生徒・保護者に計画的に活動を行い、情報モラルの重要性を啓発する活動を行うことができた。	情報モラルへの意識が高まったと感じる生徒・保護者が A : 80%以上 B : 70%以上 C : 60%以上 D : 60%未満	・情報機器に対する職員の研修の機会が1学期とれなかった。 ・3年生対象に、中学生ササット出前授業を行った。	C	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
		(読書活動の充実) 朝学習の時間での読書活動を中心に、教科指導での図書館活用を推進する。	【成果指標】 読書活動を推進する取組を意図的に行う。教科と関連させた読書活動で図書館の活用率をあげることができた。	図書館の貸出し冊数前年比が A : 100%以上 B : 90%以上 C : 80%以上 D : 80%未満	・全学年で週2回の朝読書に取り組んでいる。 ・昨年度末の一人あたりの貸出数は、12.3冊で1学期の貸出数12.5冊で上昇している。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
④	健康な身体への育成	(健康教育) 生徒自身が生活習慣や健康の保持増進に関心を持つよう、学校と保護者が協力して健康な身体への育成に努める。	【満足度指標】 生徒会保健委員会、PTA保健環境委員会を中心に活動を行い、生徒自身が健康教育、食育に関心を持ち健康増進に取り組めるよう指導している。	生活習慣が確立していると感じている保護者・生徒が A : 80%以上 B : 70%以上 C : 60%以上 D : 60%未満	・本年度のテーマ「歯科治療の向上」を図るために、生徒会保健委員会およびPTA保健環境委員会に働きかけ、取組を行った。	A	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
		(部活動の推進) 部活動の活性化と充実を努め、心身の健康や集団意識を高め、規範意識を醸成する。	【満足度指標】 部活動を通して、心身の健康や規範意識の向上が見られる。	部活動を通して生徒の成長を感じる保護者が A : 85%以上 B : 75%以上 C : 65%以上 D : 65%未満	・95%の保護者が部活動への取組状況に満足していると応えている。 ・上位大会への出場率が高まり、学校の校風作りに寄与している。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
⑤	家庭・地域との連携	(PTA活動) PTA活動の運営と支援で、保護者との連携を強化しPTA行事への積極的な参加をはかる。	【成果指標】 保護者が積極的に行事に参加する体制、機会を作ることができ参加率を向上させることができたか。	参加協力ができたと感じる保護者が A : 80%以上 B : 70%以上 C : 50%以上 D : 50%未満	・学年による差は見られるが70%程度の保護者は、行事等への参加を意識し、昨年度より向上している。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。
		(信頼される学校) 情報発信を通し、教育活動や情報を積極的に公開することで、保護者との信頼関係を築く。 【学びの指針12条】	【満足度指標】 各種だよりの発行、HPの定期的な更新、一斉メールを活用し、学校活動や情報公開を積極的に行う。	学校の情報を得られたと感じる保護者が A : 90%以上 B : 80%以上 C : 70%以上 D : 70%未満	・学年だよりや一斉メール等で学校の様子を積極的に行うことにより、取組への評価は高くなっている。	B	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。	・「学校での授業が楽しい、もっと勉強したい」という子どもたちを育てる授業をお願いたしたい。社会に出ていろいろな場面を点検できる体制作りを進める。